

販路開拓ビジネス支援Gr.

1. 「課題解決 EXPO 2022」ビジネスマッチング(BM)支援事業

公益財団法人 北九州観光コンベンション協会(以下、協会と略す)は、従来から出展企業のシーズと地元ユーザー企業のニーズを結び付ける場として商談会を中小企業テクノフェア in 九州に設けて来たが、両者の橋渡しや擦り合わせを幅広くしかも深掘りできる仕組としてコーディネーターによるビジネスマッチング(BM)を地方都市の展示会では初めて 2009 年に採用した。協会は、このコーディネーターBM 支援業務を地元大手企業 OB で組織される NPO 法人北九州テクノサポート(NOP-KTS)に委託することにより、成果を上げてきた。

しかしコロナ禍のため、2020 年度は 6 月開催予定の中小企業テクノフェア in 九州 2020 の中止や 10 月開催予定の西日本製造技術イノベーション 2020 のオンライン開催になり、コーディネーターによる BM 支援の成果を十分に発揮できなかった。

2022 年度は、課題解決 EXPO2022 として、中小企業テクノフェア in 九州 2022 と西日本製造技術イノベーション 2022 に西日本 DX 推進フェア 2022 を併せて 7 月 6 日(水)から 8 日(金)の 3 日間の開催になった。BM 支援対象の出展企業は、中小企業テクノフェアが 78 社、製造技術イノベーションが 34 社、そして DX 推進フェアが 38 社と合計 150 社になりこれまでになく増大したことと、IT 関連企業がその半数を占めたことから、NOP-KTS はコーディネーターの増員と DX 対応のため IT 技術の研修を実施した。担当地元企業数 323 社に対して橋渡し・摺合せによる 516 件の BM 支援を実施した結果、9 月末時点の商談可能件数 37 件、商談見込金額 1,680 万円の成果を得た。下の写真は、その時の BM 支援の様子である。



2. 北九州商工会議所アドバイザー制度等による支援事業

2014年度から北九州商工会議所の要請によりものづくり企業へのアドバイザー制度を開始した。約20名のKTS会員を登録し、商工会議所会員企業のエコアクション21認証登録の支援をはじめ特許・申請・技術的対応・メーカーの紹介等の支援を行っている。